

2016年スペシャルオリンピックス日本・大阪 第23回共生・共走リレーマラソンボランティア活動に参加いたしました

2016年5月29日（日）に「第23回 共生・共走リレーマラソン」のボランティア活動に参加いたしましたので、ご報告いたします。大会は花博記念公園・鶴見区緑地公園で行われ、スペシャルオリンピックスからは、アスリート15名とボランティア16名（弊社からは大人3名子供3名）が大会に参加しました。（様々な団体や個人の参加者・ボランティアを含めると毎年1,000名規模で行われる大会です）アサヒディードは2001年より継続してスペシャルオリンピックスのボランティアに参加しております。*公益財団法人スペシャルオリンピックス日本は、知的障害のある人たちにオリンピック競技種目に準じた様々なスポーツトレーニングとその成果の発表の場である競技会を、年間を通じ提供している国際的なスポーツ組織です。

■開催趣旨

『共生・共走リレーマラソン』は、障害の有無に関わらず5時間のリレーマラソンを行い、「共に走り。共に生きる」ことによって、様々な人と交流し、心のバリア（障壁）を取り除き、「共生の社会」、自由な未来を創造していくことを目的とした催しです。本協技会がスポーツを通じて自立と社会参加を目指すアスリートたちのさらなる成長の一助となることを願い開催を行っています。

日時 2016年5月29日（日）開催 *雨天決行

○AM 8:00 受付開始 AM9:30 開会式

AM 10:00 スタート PM3:00 ゴール/表彰・閉会式

○ルール 1周約1.2km スタート後、5時間リレー方式で共走します

○会場 メイン会場=花博覧会・鶴見緑地内 水の館及び水の館ホール附属展示場

■当日の様子

当日は、前日までの雨が嘘のように晴れて良い天気でした。開会式では、大阪府の公式マスコットキャラクター（もずやん）と鶴見区公認キャラクター（つるりっぷ）と共に開会式後、準備体操を行いケガに備えました。まず始めに、選手とボランティアでコースを回り走る場所やコースを確認しました。次は、スペシャルオリンピックスの方々や選手と一緒にスタートし、選手がコースに慣れたら併走ボランティアと一緒に走ります。選手の皆様は、普段からトレーニングをされて、タイムを競いあい真剣に競技に取り組み、併走の私達は置いていかれそうになりながら懸命に走るのが精いっぱいでした。午後から曇りになり、日差しも落ちて心地よい気候で走ることが出来ました。選手の間でも、マラソンが得意な選手は5周続けて走り、普段あまりマラソンはしない選手は1周走るなどそれぞれのペースで、襷を繋ぎました。最終周では、選手とボランティア、ご家族も全員一緒にコースを走り、15時頃ゴールを迎えました。

■参加者の感想

今回はいつも参加されているボランティア企業が参加出来なかった為、弊社に御声を掛けて頂きました。昨年度は16時までマラソンが行われており、今年は1時間短縮されたようです。広報担当も一緒に併走させて頂いたのですが、全然ペースに追いつけずコースの途中から離され、選手が先にゴールしてしまう事もありました。選手のご家族とお話する機会があり、色々伺うと選手は、『しんどいや疲れたなどという感情で、休憩したり、ペースを落として走るという考えではなく、走る、頑張ると決めたらとことん頑張る』という意識で競技に取り組まれているそうです。日頃からトレーニングしている成果を、今日出す事が出来たとおっしゃられました。でも、一緒に走る人を待ってあげたり、ペースを合せて走るとい事がなかなか出来ないで、今回のマラソンを通して社会と共存する事を学んで欲しいと言われました。企業から個人まで、様々な選手が参加され全力で走り襷を繋いで走りました。還暦を迎えられてた選手から、下は2歳ぐらいのお子様まで練習の成果を出し切った大会になりました。



リレーマラソン入口付近



開会式での準備体操の様子



弊社ボランティア参加者

本件に関するお問い合わせ先

株式会社アサヒディード 広報担当

〒541-0053 大阪市中央区本町2-1-6堺筋本町センタービル11F

TEL: 06-6261-1530 FAX: 06-6261-3312